

## 第2回 次世代構造システム分科会 議事要旨

日 時：平成30年5月21日（月）10:30～11:50.

場 所：日本学術会議 5-A(1) 会議室.

出席者：前川（委員長）、依田（副委員長）、風間[S]、高橋[S]、桑野、加藤、東畑、小峯、永野、藤田（幹事）、小野（幹事）.

以上、計11名（敬称略、順不同。[S]はスカイプでの参加）.

配付資料：

- ・資料0：議事次第
- ・資料1：第1回 次世代構造システム分科会 議事要旨（案）
- ・資料2：話題提供 原子力土木、環境土木を専門とする大学教員から見た「拡大する土木技術者の役割」
- ・資料3：話題提供 全体会資料

議事

### 1. 前回議事録要旨

前回議事要旨案（資料1）が承認された。

### 2. 議事要旨について

- ・議事要旨は会議後、8週間以内に事務局へ提出する必要があることが周知された。
- ・次回の分科会まで8週間以上ある際には、メールで当日出席された委員に確認→委員長に一任→承認→事務局に提出、という手順で進めることが提案され承認された。

### 3. 今後の進め方

- ・委員長、副委員長、幹事で集まり、具体的なスケジュールについて6月上旬に検討し、次回委員会で委員に報告する。
- ・大きな方針としては、3年後に提言をする。内容としては、学術だけでなく教育・人材育成についても言及する。

### 4. 話題提供1

- ・小峯委員より資料2に基づき、内科医的土木技術者の育成の必要性に関する話題提供がされた。
- ・各委員から、土木をはじめとする建設系分野における、内科医的技術と外科医的技術について多角的に議論された。

### 5. 話題提供2

- ・前川分科会委員長より、資料3に基づき午後に行われる土木工学・建築学委員会全体会議について説明された。

- 土木の中で、材料と構造は近い専門分野であるのにも関わらず、今間はあまり議論が行われてこなかった。この度、両者の考えを統合する試みが行われ、非常に困難が多かったが貴重な議論ができたことが報告された。
- 再来年 4 月に提言をだすためには、来年中には提言をまとめる必要がある。具体的な内容とスケジュールについて次回は議論する必要がある。

—以上—